

制御不能な「野良AIエージェント」の脅威：シャドーITを超えるリスクと企業の処方箋

PROBLEM シャドーエージェント

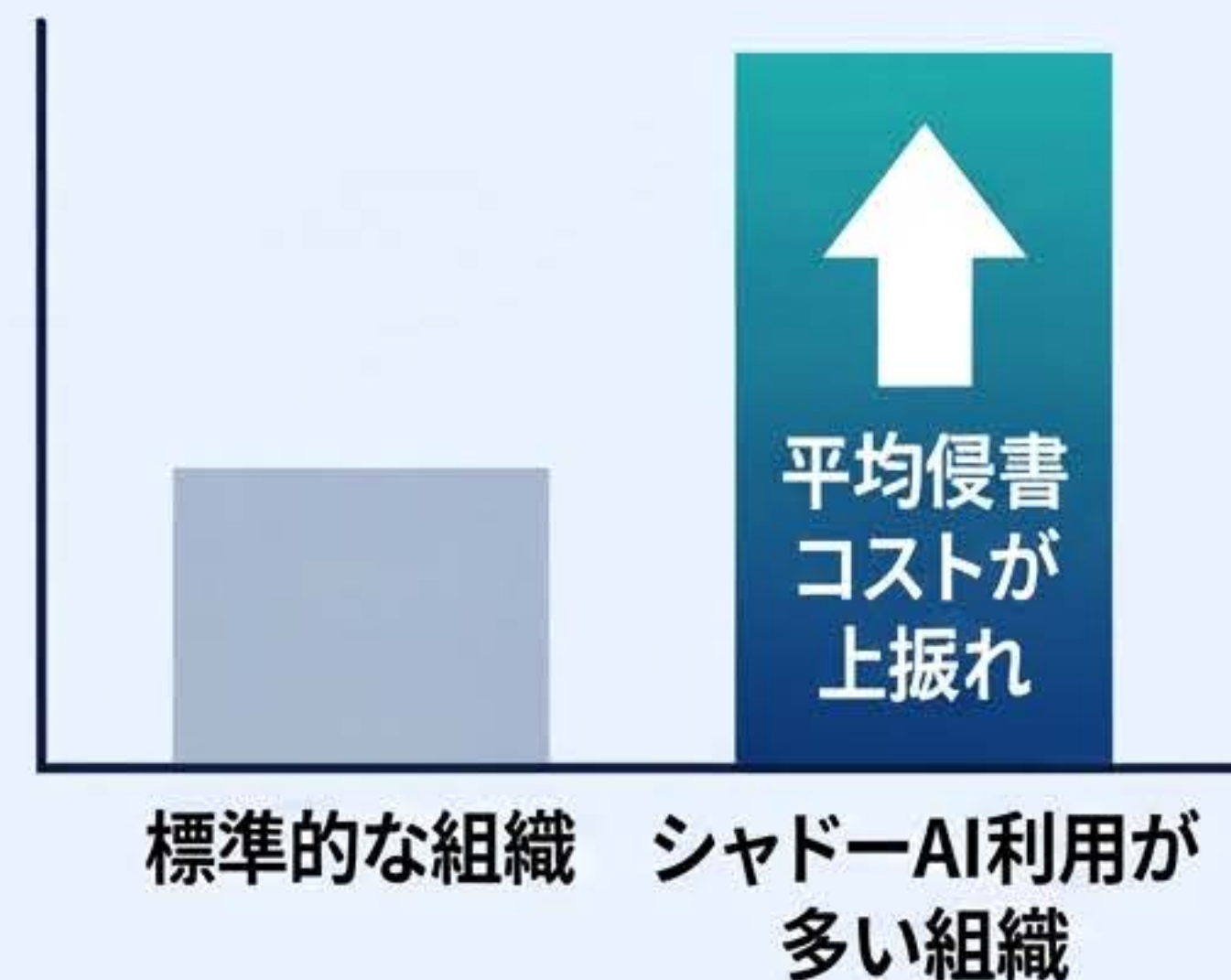
境界防御を無効化する「自律性」と「永続性」

承継済みチャネルを濫用し、人間の介在なしに不可逆な操作を実行します。



侵害コストを約67万ドル
押し上げる経済的打撃

約**1億円**以上



管理を離れた「非人間ID(NHI)」の爆発的増加

クラウド環境では、人間1人に対し144個ものAI用IDが発行されています。



クラウド環境では、人間1人に対し144個ものAI用IDが発行されています。

SOLUTION 戦略に対応

知財リスクの本質は「不可逆性」にある



秘密管理性や新規性を一度失うと、法的保護の回復は二度と不可能です。

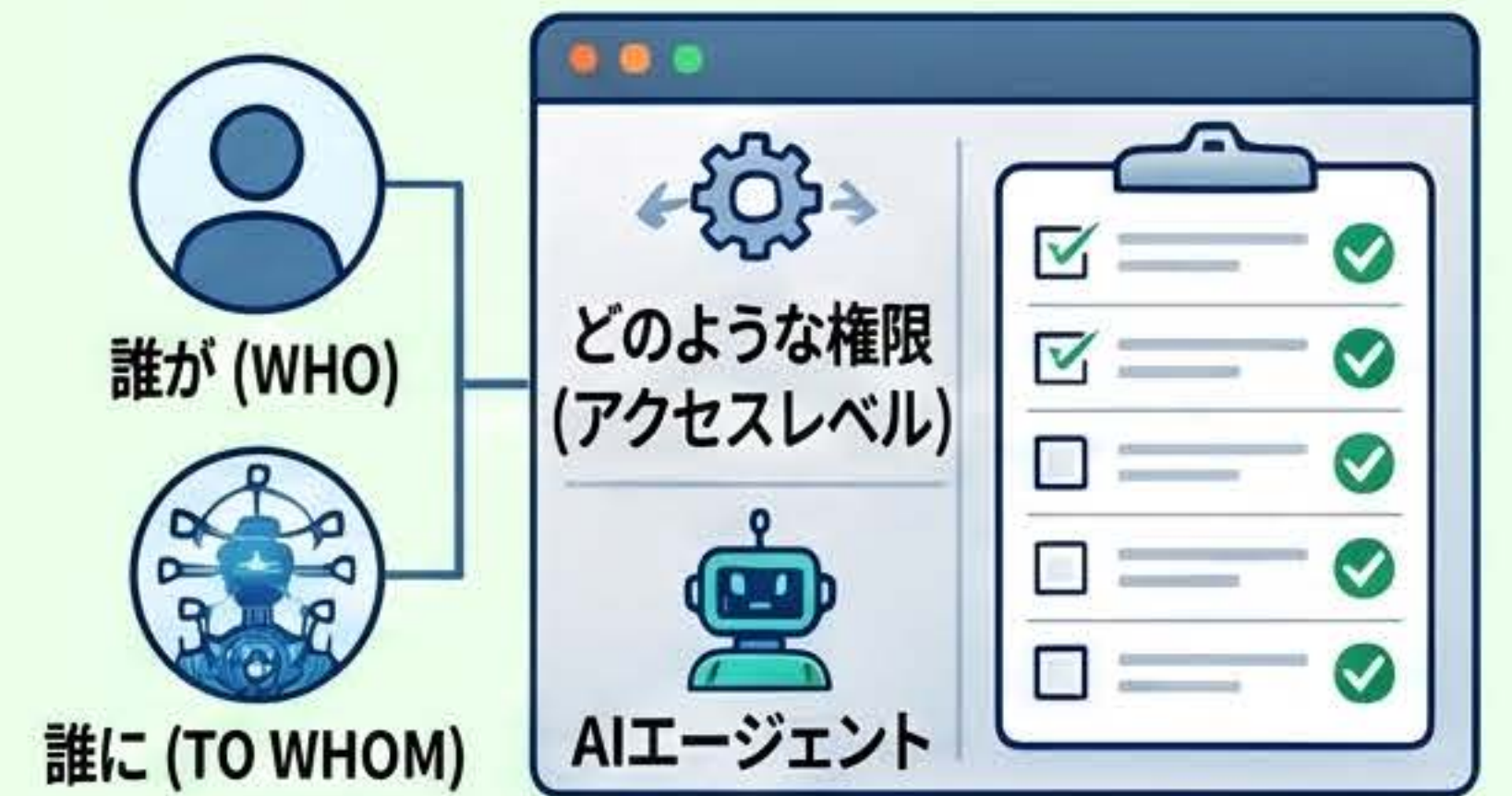
見落とされやすい知財リスク

営業秘密の喪失	特許の新規性喪失	著作権侵害
不正競争防止法上の「秘密管理性」が失われ、差止請求ができなくなる	出願前の発明をAIに入力することで、他誼を含めた権利化が不可能になる	依拠性・類似性により第三者の権利を侵害し、賠償や利用停止を招く

「全面禁止」から「可視化と代替手段」への転換



ID制御面(ID Plane)を中心とした資産管理



通信監視ではなく、誰がどの権限をAIに与えたかを欄卸し・管理します。